

第40回 SATOU フォーラム

今回と次回会場が今までと異なります。次頁の地図参照

URL: <https://satou-forum.jp> (右 QR コード)

あるいは「SATOU フォーラム」で検索してください。

(過去の講演内容の概容又は資料もご覧になれます)



記

日時: 2024年5月15日 (水) 16:00~19:00 (受付開始は15:50より)

会場: シー・エフ・ネッツ東京支社応接室

中央区京橋3-9-8 京橋白伝ビル3階

(前回と今回はイオンコンパス八重洲会議室が自社使用のため使えませんでした。

6月にはイオンコンパスの会議室に戻ります)

フォーラムの講演そして交流会も併せて、出欠票に記載の上、ご返送ください。

(FAX 又は PDF にてメールで送付ください。)

- > 15:50~16:00 受付
- > 16:00~16:15 会員情報発信
- > 16:15~18:00 [講演] (質疑応答時間含む)

「『神宮外苑 写真でみる東京・青山の記憶』が今春出版された。著者の藤井京乃さんの『青山写真地図 2020』『新版写真でみる東京・青山の記憶』(2022)に続く青山の貴重な写真集シリーズである。」

—青山で生まれ育ち、元タカラジェンヌでもある藤井さんのカメラを通した思いの丈が一枚一枚映像に詰まっている。「青山を研究する会」は、亡きご母堂から継承された。親子二代にわたる年季はホンモノだ。

ところで突然ですが「ナンジャモンジャ」という木をご存知でしょうか? 子供心にその語感が面白く、妙にどんな木か気になる木だった。今般絵画館前の写真で、綿雪のような白い花をびっしり咲かせた様を拝見し、積年のナゾが解消したが、一方ユニークなネーミングは「誰が」「どうしてつけたか」さらにナゾがふくらんでしまった。

講師: 藤井 京乃 先生 (「青山を研究する会」代表)

> 18:00~19:00 交流会 ビールと軽いつまみで情報交換タイム

[今後のSATOUフォーラムの予定] 第41回 2024年6月11日(火) 演題・講師未定

【会場説明】

東京メトロ銀座線京橋2番出口(一番銀座寄り)徒歩3分・都営浅草線宝町 A4番出口徒歩2分

主婦と生活社ビルのはす向かいに黄色い看板の居酒屋「駒忠」があります。その昭和通り側の隣の白伝ビルの3階です。1階は老舗のほうき屋「白木屋傳兵衛」です。

藤井 京乃先生 プロフィール

東京都港区赤坂青山南町(現港区南青山)に生まれる。

幼少期より青山墓地、神宮外苑で遊び、現在の地域活動の原点となる。

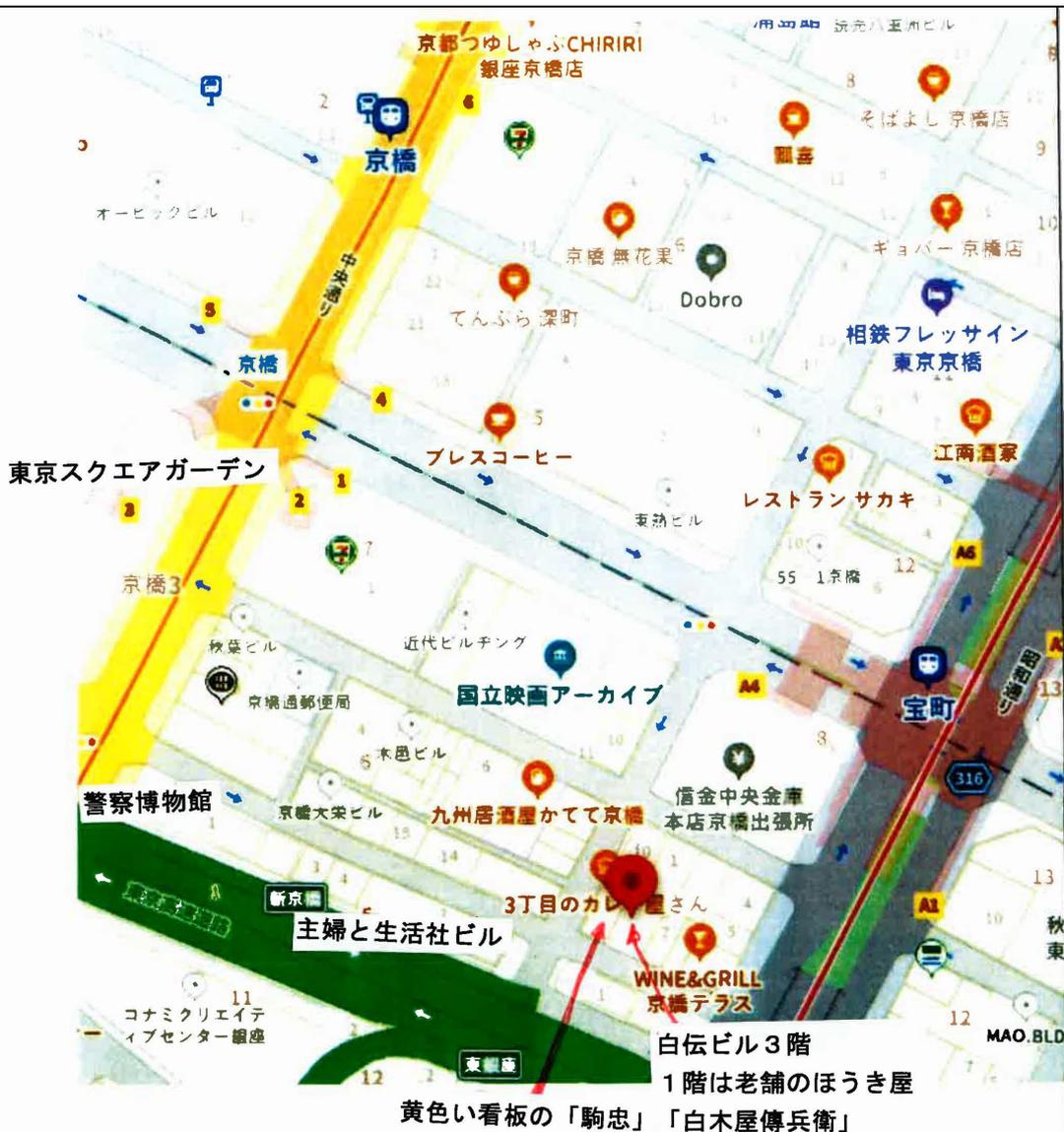
港区立青山保育園、港区立青南小学校、港区立青山中学校、私立トキワ松学園高等学校を経て、宝塚音楽学校を卒業。宝塚歌劇団入団、月組に配属される。

宝塚歌劇団を退団後、1987年「青山を研究する会」発足。『青山タウン・レポート』創刊。日々の暮らしの中にある個人の歴史を大切にすまちづくりを提唱し、住まいとまちに関わる調査・研究活動を行う。

『ファッションタウンとしての青山』にて、「ファーガー賞」受賞。

港区区政モニター、港区基本構想審議会委員、港区区政推進懇談会委員、港区住宅公社評議員、港区住宅基本計画改定調査委員、港区赤坂地区版計画推進分科会メンバーなどをつとめる。現在、港区環境審議会委員、青山三・四丁目町会理事。

著書・編著に、『東京・青山の記憶 聞き書き・人々の暮らし』『青山写真地図 2020 コロナ禍の町を歩く』『新版 写真でみる東京・青山の記憶』『神宮外苑 写真でみる東京・青山の記憶』ほか。



外苑再開発に大義はあるのか

かつてこの地球上に頑丈な鉄の橋が登場したころ、この横になったものを、「ビューンと持ち上げて縦にしたらオモロイのでは？」とのエッフェルの思い付きから、あのエッフェル塔が誕生した。

塔の建設には、フランス世論は賛否二つに割れた。今では「パリといえばエッフェル塔」エッフェル塔のないパリは、とろのない刺身のようなもので、とても想像がつかない。

建設反対の急先鋒のひとりだった作家のモーパッサンは、竣工後のエッフェル塔の2F レストランのいつしか常連客におさまっていた。

その理由を尋ねられると、「ここは、市内で唯一、塔を見ないで食事ができるから」と答えた。

そもそも保守の伝統は、尊重されるべきだが、それに固執しすぎれば、時代を革新する大義あるいは未来までを失ってしまうこともある。

要するに究極は、大義が保革どちらに認められるかということであろう。

神宮外苑の再開発がそじょうに乗っている。

創建時からの故事来歴の大義と時を経て見事に成長した豊かな緑の保全の大義が開発に対し、反発を招いている。

開発の詳細は知らぬが、高さ190m程の超高層ビルが二本できるだけという。

今更、その程度の大義も未来も、まったく惜しくもない。

現在ドイツでは、自宅の私有地の木であっても勝手に切ることができない。

地上1mの高さで木の直径をはかり、何cm以上は近隣の同意が必要とされる。緑を大切にする傾向は、世界の潮流だ。

ところで、私有地の外苑の維持管理費がバカにならない。明治神宮が年間10億円以上負担しているらしい。再開発をストップするのであれば、その後の維持管理費をどうすれば良いかまで提案すべきではないだろうか？

クラウドファンディングを含めてなんとか知恵を絞りたい。

以上

(文責：佐藤)

第 40 回 SATOU フォーラム 参加申込書

下記に記載して、参加費をお振込みください。(申込書は FAX 又は PDF にてメールで送付ください)
よろしくお願い申し上げます。

フォーラム参加費:6,000円(税込)(交流会費 1,000円含む)

交流会参加 交流会不参加

お名前			
企業名			
部署名・役職			
電話番号		FAX 番号	
メールアドレス	@		

*お忙しい中恐れ入りますが、**5月9日(木)頃まで**にご返信をお願いできればと存じます。

<事務局>

プラチナ出版株式会社
〒104-0031 東京都中央区京橋 3-9-7
京橋鈴木ビル 7F
事務局: 今井 090-1701-7108
[Tel:03-3561-0200](tel:03-3561-0200) Fax:03-6264-4644
E-mail:info@platinum-pub.co.jp

振込先: 三菱 UFJ 銀行 虎ノ門中央支店 普通 5384697
口座名義: 佐藤 一雄